

○中島源陽委員長 続いて、緑風会の質疑を行います。

なお、質疑時間は答弁を含めて十分です。高橋啓委員。

○高橋啓委員 それでは、今議会での最後の質疑となりますので、最初に一言、三月をもって御退任されます佐野副知事には、同窓ということもございまして大変お世話になりました。感謝申し上げます。また、同じく三月末をもって御退任される部長の皆様にも、その御尽力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

質疑に入らせていただきます。

最初に、十一号補正に係る新規事業の中の新型コロナウイルス感染症防止対策支援費について伺います。

新規事業として、介護サービス事業所や障害サービス事業所並びに放課後児童クラブへの衛生資材等の購入助成がございました。県内全ての事業所が対象になると思いますが、それぞれの対象施設数について伺います。

○村井嘉浩知事 介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所が感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に実施していくために必要な衛生資材の購入等を補助するものがございます。補助の想定施設数は、介護サービス事業所が約三千七百か所、障害福祉サービス事業所が約一千五百か所でございます。また、放課後児童クラブにつきましては、感染症対策に必要な衛生資材の購入等への補助や、消毒作業など通常想定していない感染症対策に要する掛かり増し経費等を補助するものであります。放課後児童クラブはおむね一クラス四十人を想定した単位数で計上する仕組みとなっており、施設数でのカウントではありませんが、三百八十六単位を補助対象としております。

○高橋啓委員 続きまして、放課後児童クラブへの具体的な財政支援とありますが、具体的に伺いさせていただきます。

○伊藤哲也保健福祉部長 新型コロナウイルス感染症対応のための放課後児童クラブに対する財政支援の内容といたしましては、休業に伴う利用料返還や臨時開館した場合の運営費、ICT化に要する経費を補助するものであります。具体的には、感染拡大防止のために臨時休業した場合に保護者へ返還する日割り利用料に対して補助を行うというもの。また、学校の休校に伴い児童クラブを臨時に午前中から開所した場合などにその運営費に対して補助を行うというもの。更には、児童が入退出した時間を電子媒体によ

り管理したり保護者等へ一斉通知したりするなどのようなICT化に要する経費を補助するという内容であります。

○高橋啓委員 続きまして、盛土対策費について伺います。

熱海市での崩落事故を受けまして、県及び市町村で昨年実施した盛土緊急調査の結果、七か所で課題がある盛土が指摘されました。今回予算化された林地開発箇所について、再調査が必要と判断された状況及び調査規模、面積について伺いさせていただきます。

○鈴木秀人環境生活部長 議員御指摘のとおり、昨年七月に静岡県熱海市で発生いたしました土石流災害を受けまして、国から依頼のあった盛土による災害防止に向けた総点検に基づき県内で三百九十五か所の点検を行った結果、七か所で課題がある盛土が確認されたというものでございます。この七か所でありましても、今回調査を行う仙台市泉区北中山地区につきましては、事業者が林地開発許可を受け、建設残土捨て場などとして盛土を行っております。この盛土にクラックや沈降などの変状が確認されたというところでございます。現在、県では事業者に対しまして応急対策の実施と復旧計画の早期作成を指導しているところでございます。今回の調査であります、開発行為区域内に変状が確認されたことから実施するものでございまして、発生原因の解明や必要な対策の検討を行い、盛土の安全性が確保されるよう復旧対策を実施する事業者を適切に指導してまいりたいと考えております。面積についてですが、これは今後どのくらいの面積にするかということは、その時点の手続の中で判断したいと思えます。なお、北中山地区以外の課題がある盛土六か所でございますけれども、事業者への是正指導や条例に基づく土砂等の搬入を禁止する措置などを行うことで対応しているところでございます。

○高橋啓委員 その六か所については、今部長が申し上げたとおり手続の指導や経過観察というふうな流れになっておりますけれども、住民からの通報もあつての今回の調査であつたということでございますので、その調査結果の住民への周知をどのように進めるのか、お伺いさせていただきます。

○鈴木秀人環境生活部長 何か所課題があつたかということは、これは公表しているということでありませけれども、これから一つ一つ状況を確認し、問題があればその都度公表していきたいと思えます。

○高橋啓委員 よろしくお願ひします。続きまして、道路橋りよう事業費についてお伺いさせていただきます。

今年度の除融雪に要する経費について、前年度及び平年度と比較してどうなのか、お伺いさせていただきます。

○村井嘉浩知事 県内に指定観測点が四か所あるのですけれども、仙台市の作並、それから加美町の小野田、それから大崎市の鳴子、それから栗原市の栗駒、この四か所が観測点なのですけれども、今年度の降雪量は二月末時点で過去五か年平均と比較いたしましたして約一・四倍、そして除雪作業日数も三十日多くなっております。やはり今年は雪が多いんですね。雪が多かった昨年度と比較しても、降雪量は昨年度並みで、作業日数は七日ほど多くなっております。昨年かなり雪が多かったですけれども、それよりも今年が多いということです。また、融雪作業日数は、過去五か年平均並みであった昨年度よりも十一日ほど多くなっております。ちなみに、融雪作業というものは、気温が氷点下になった場合に行うということになっておりますが、かなり寒かった昨年度よりも十一日多くなっているということでもあります。こういったことで、例年十五億円から二十億円、過去五年間の平均は約十九億円です。例年十五億円から二十億円で推移しております除融雪経費ですが、昨年度の約二十四億円よりも更に多い約二十五億円を見込んでいるということでもあります。また、あわせて、国に対しましても北海道・東北六県、そして政令市が合同で除融雪費の国費追加要望を今年二月に行っているということでございます。今年は全国的に大変雪が多いということでもありますので、国がどこまで対応してくれるか分かりませんが、かなり市町村の負担が重くなっておりますので、そういった意味ではしっかりと国から財源を確保できるように最大限努力してまいりたいと思っております。

○高橋啓委員 今年も確かに雪が大変多かったですけれども、主な観測地点での比較をお示しいただきたいと思っておりますが、お願ひします。

○佐藤達也土木部長 先ほど知事から御答弁申し上げました指定観測点、四地点ございます。今年度は特に加美町の小野田観測点で雪が非常に多く、累加降雪量が過去五か年平均の二百三十五センチメートルに對しまして、一・九倍の四百四十八センチメートルとなっております。また、他の観測点でございますが、過去五か年平均に比へまして、

作並の観測点が約一・二倍、鳴子の観測点が約一・四倍、栗駒の観測点は平年並みという状況になってございます。